

平成31年度地域貢献事業報告書

教育学部附属中・高等学校

多文化共生のための防災訓練  
～高峰町学区消防団・名大留学生・附属学校生徒～

1. 事業の目的と概要

名古屋大学では、年2回（2019年度は5月23日と、10月29日）防災訓練を行い、非常時に備えた防災訓練を実施している。附属学校では独自に非常時下校班を組織化し、生徒たちが安全に帰宅できるようにしている。しかしながら、名古屋大学周辺地域には、多くの外国人が居住し地域の避難所に指定されている附属学校にも多くの外国人が避難してくることは容易に想定できる。一方で地域の方は、非常時における外国人との共生に関して、不安な気持ちをもっている方も少なくはない。これは、非常時において外国人との共生をこれまで多くの住民が経験していないことに起因すると考える。また、同時に外国人にとっても非常時に「どのようなことが起こり」、「どのような生活がよぎなくされるか」等に関して不安に感じている人がほとんどである。これらの課題を解決するためには、「事前にどれだけ練習し、何が起こっても柔軟に対応ができる心構え」をたくさん経験しておくこと以外にはない。その上限もない。そのための第1弾として、今回、「多文化共生のための防災訓練」と銘打ち、名古屋大学インターナショナルレジデンス山手ノース・サウスを会場に防災訓練を実施した。山手ノース・サウスが立地する昭和区滝川消防団にも実演参加協力を依頼し、山手ノース・サウス近隣住民にも参加を呼び掛けた。外国人避難者支援のノウハウを蓄積するため附属学校生徒も参加した。普段は、あまり交流の機会を持たない、名大留学生、昭和区滝川町住民、附属学校生徒が、一同に集まって「多文化共生のための防災訓練」を行うことはこれまであまり類をみない。今回初めて実施したことにより、上記で提示した「外国人との共生を不安視する地域住民、災害時における対応方法を知らない留学生」といったような積算する課題に対応できるきっかけとなった。加えて、附属学校生徒は、地域の避難所に指定されている「附属学校」に災害時、近隣外国人住民が避難してこられた時に、今回の経験を活かして、「重要なマンパワー」として活躍することが期待される。今回の「多文化共生のための防災訓練 ～滝川町学区消防団・名大留学生・附属学校生徒～」は、多くの外国人が生活するこの地域ならではのものであり、成果・効果を上げることができたと考えている。また、併せて今後の課題も明確になった。

2. 実施内容

実施日 : 2020年2月9日(日) 実施時間 : 9:30～12:30

実施場所 : 名古屋大学インターナショナルレジデンス山手ノース・サウス

参加者 : 留学生 22名 自治会・防災会・消防団などのスタッフ : 9名

昭和消防署 5名 本校関係者 22名(教員 5名、生徒 15名、教育推進部 2名)

訓練内容 : 水消火器訓練 煙道体験、AED訓練、炊き出し訓練 防災クイズ紙芝居、やさしい日本語による防災講座

### 3. スケジュール

8:30 スタッフ集合 ・炊き出し準備

9:30 防災訓練開始 ・挨拶（附属学校、滝川消防団） ・防災訓練説明  
・全体会（やさしい日本語による防災講座）

10:15 参加者を3グループ（Aグループ、Bグループ、Cグループ）に分ける。グループごとに3か所（①、②、③）の体験ブースを順に移動し訓練開始

①AEDグループ（滝川消防団）②煙幕体験、水消火器体験グループ（滝川消防団）

③防災クイズグループ（附属学校生徒）

12:30 非常食試食体験

13:00 講評（昭和消防署、名古屋大学）



### 3. 事業の成果と課題

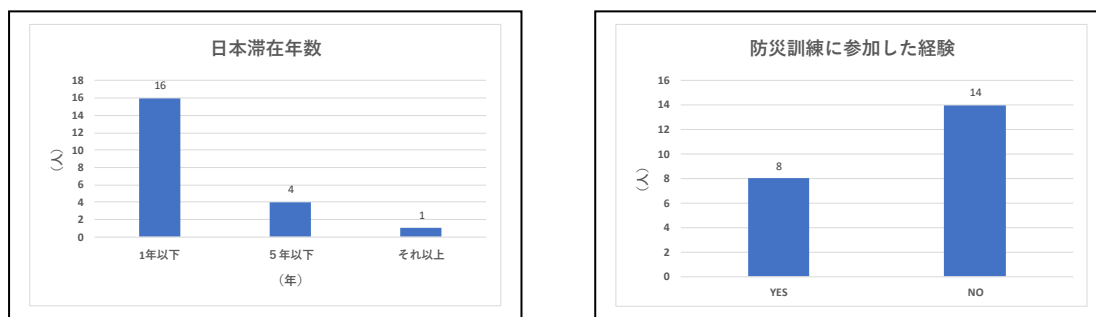
名古屋大学インターナショナルレジデンス山手ノース・サウスは、名古屋大学に入学して間もない学生が生活している。また、このレジデンスに入居できる機関は1年間と定められている。1年後は、それぞれ留学生は、自分たちでアパートを借りて生活することになる。そのため、このレジデンスに入居している間に、「災害時の基礎的な体験型訓練」をしておくことは、留学生がアパートで一人暮らしを始めた後、大いに役立つ。なぜならば、「災害時の基礎的な体験型訓練」をする機会が、転居後にはほぼないからである。実際、訓練終了後にとった留学生アンケートでは、多くの留学生が「防災訓練」をこれまでした経験を持たなかった。また、防災訓練を経験したとしても名古屋大学が行っている「一斉放送による防災訓練」のみであり、体験型の防災訓練をしたことがある留学生は希であった。また、地域の消防団、昭和消防署、附属学校生徒にとっても、言葉が十分に通じない留学生に「行動の指示」を的確に説明する難しさや、伝えるための多くの時間が必要であるということも分かった。体験型訓練の中で、「内容をよく理解している留学生」が、他の留学生に説明をしている姿を通して、災害時における留学生リーダーを育成する必要があるということも分かってきた。

今回の「体験型防災訓練」を通して、多くの課題も浮かび上がった。まず、AEDの使い方を知らない留学生も多くいたことである。名古屋大学インターナショナルレジデンス山手ノース・サウスにはAED

は一台もないことも判明した。AED 体験訓練を行うとともに、AED を設置することが必要である。今回は、滝川学区住民の参加がなかったことも課題である。「防災イベントのお知らせ（お誘い）」ちらしを、附属学校副校長と滝川学区自治協議会長の連名で、事前にポスティングを行ったが、周知が十分にされていなかったことと、これまで行ったことがなかったために参加に消極的であったことが原因であると推察された。次年度も開催を予定しているが、滝川学区自治協議会だけでなく、滝川小学校とも連携をとって、事前に十分時間をとって協議し、実施計画をたてることで地域の住民も参加しやすくなるを考える。今回は、名古屋大学インターナショナルレジデンス山手ノース・サウスの RA (Residential Assistant) の方や教育推進部の方々の協力を得ながら実施できたため、継続して行いたい。

#### 4. アンケートより（留学生 22 名分）

##### 4-1 留学生の属性



先にも記述したように、名古屋大学インターナショナルレジデンス山手ノース・サウスは名古屋大学に入学して間もない学生が多く居住している。そのため、日本滞在歴も 1 年以下の者が多い。しかし、今回の「防災訓練」は、インターナショナルレジデンス山手ノース・サウス出身者で、現在は他所に居住している留学生やインターナショナルレジデンス山手ノース・サウスにはそもそも居住していない留学生も参加していたことがわかる。また、参加者のほぼ半数が、「防災訓練」を経験したことがない留学生であったことがアンケートから分かる。「防災訓練」を経験した留学生は、インターナショナルレジデンス山手ノース・サウスや、それぞれの出身国で「防災訓練」を経験したことがあることも分かった。そのおおくは、地震を想定した「防災訓練」であった。

##### 4-2 自由記述より（原文通り）

- For today, it is very good about information for me. Thank you very much
- I Learned a lot from today's evacuation drill. It is very helpful and it makes me more aware of what to do when the disaster happens.
- Very Practical and easy to remember with individual.
- Interesting, fun, and informative. It was fun to interact with Japanese students.
- First experience was amazing. I learned a lot. AED training was informative. Smoke screen experience was scary but good..
- It is of great importance to know how to survive in a disaster.
- It is very well and very helpful for me to live on Japan. And I think it was very good.
- I think it is very important we could understand practically.
- Very extensive. I have experienced much more than I have in previous drill.
- I think it is so helpful for us as foreign students to get to know how to act in a disaster. This

event is so successful in that case.

- It was very interesting. Like do the quiz game with local students and learn knowledge about evacuation drill as well. I think it is very helpful.
- Great experience! Doing with Japanese students was especially fun. I wish we have more of AED training. Thank you for such experience.
- I have learnt a lot about how to protect myself and how to help others during the disaster. It is very useful.

## 5. 訓練内容

### 5-1 やさしい日本語による防災講座 (附属学校)



### 5-2 AED トレーニング (滝川消防団、昭和消防署)



### 5-3 水消火器体験 (滝川消防団、昭和消防署)



### 5-4 煙幕体験 (滝川消防団、昭和消防署)



5-5 防災クイズ (附属学校生徒)



5-6 炊き出し訓練 (附属学校)



6. 資料

## 防災イベント

**日時** 2020年2月9日(日)  
**時間** 午前9時～12時00分  
**場所** インターナショナル レジデンス山手  
 (住所 名古屋市昭和区高峯町165)

もしもの時は、自分たちでできることを身につけておきましょう！  
 炊き出し訓練及び試食、防災クイズなどイベント盛りだくさん！

### イベント内容

- 炊き出し訓練及び試食
- 煙幕体験
- AED訓練
- 水消火器訓練
- 防災クイズ..etc

主催 名古屋大学教育学部附属中高등학교  
 連絡 024-759-2030

令和2年2月9日

町内の皆様  
 名古屋大学教育学部附属中高등학교  
 副校長 三小経博明  
 滝川学区自治協議会  
 会長 毛利 邦男

### 防災イベントのお知らせ (お誘い)

竜巻の襲、皆様におかれましてはまずまずご事情のこととお慶び申し上げます。日ごより本校の教育活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。さて、下記の要項で名古屋大学の部生や附属中学生とともに防災イベントを開催します。皆様にもぜひお越しいただきたく、ご案内申し上げます。

記

- 日時： 令和2年2月9日(日)  
午前9時30分～12時00分
- 場所： インターナショナル レジデンス山手  
(住所 名古屋市昭和区高峯町165)
- 内容： ①炊き出し訓練及び試食 (お弁当クッキングで飯を炊き、1人1食量(1.5人分)でカレーライスを試食します)  
②煙幕体験  
③AED体験  
④水消火器訓練  
⑤附属中学生による防災クイズ等

主催：名古屋大学教育学部附属中高등학교  
 協力：名古屋大学、附属中高、滝川学区  
 問い合わせ先 (024) 759-2030 (個人用 厳禁)  
 副校長 三小経博明 (024) 759-2030

## 防災イベント スタッフ募集!

令和2年2月9日(日)

会場：インターナショナルレジデンス山手  
(住所 名古屋市昭和区高峯町165)

防災イベントを通じて地域交流のお手伝いをしてみませんか？

募集人数	10名程度	募集対象	名古屋大学在学中の部生
活動内容	内 容： イベント準備、片付け、運営等 時 給： 1,040円 (8時間勤務) 雇用期間： 2月9日(日) 9時～17時 (休憩時間1時間含む)		
応募方法	下記アドレス又は二次元コードから「スタッフ参加申込フォーム」に必要事項記入し必要書類を合わせてメール送付ください。 <a href="https://mas.nagoya-u.ac.jp/ja/Timc15Day/FJ7X">https://mas.nagoya-u.ac.jp/ja/Timc15Day/FJ7X</a>		
申込締切	令和2年1月31日(金)		

問い合わせ及び提出先 名古屋大学教育学部附属中高등학교  
 TEL: 053-789-4444 E-mail: [mas@nagoya-u.ac.jp](mailto:mas@nagoya-u.ac.jp)